

第9部

インフラ・住宅・環境

第1章 道路・運輸

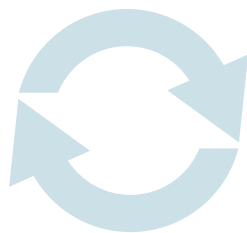
- 172 道路(道路実延長と道路舗装率)
- 173 鉄道
- 174 バス
- 175 公共交通機関におけるバリアフリー化

第2章 住宅

- 176 住宅の種類
- 177 1住宅当たり居住室数
- 178 1住宅当たり延べ面積(持ち家/借家)
- 179 着工新設住宅数
- 180 空き家数

第3章 環境

- 181 都市公園
- 182 自然公園利用者数
- 183 景観計画策定市町村率
- 184 公共下水道の普及率
- 185 ごみ排出量
- 186 ごみのリサイクル率
- 187 最終エネルギー消費量
- 188 再生可能エネルギーの導入実績
- 190 奈良県の気候の変化





都市公園

都市公園面積18.32km²都市計画区域内人口1人当たりの面積14.09m²

2022(R4)年度末の都市公園面積は18.32km²で全国28位、都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積は14.09m²で全国23位となっています。

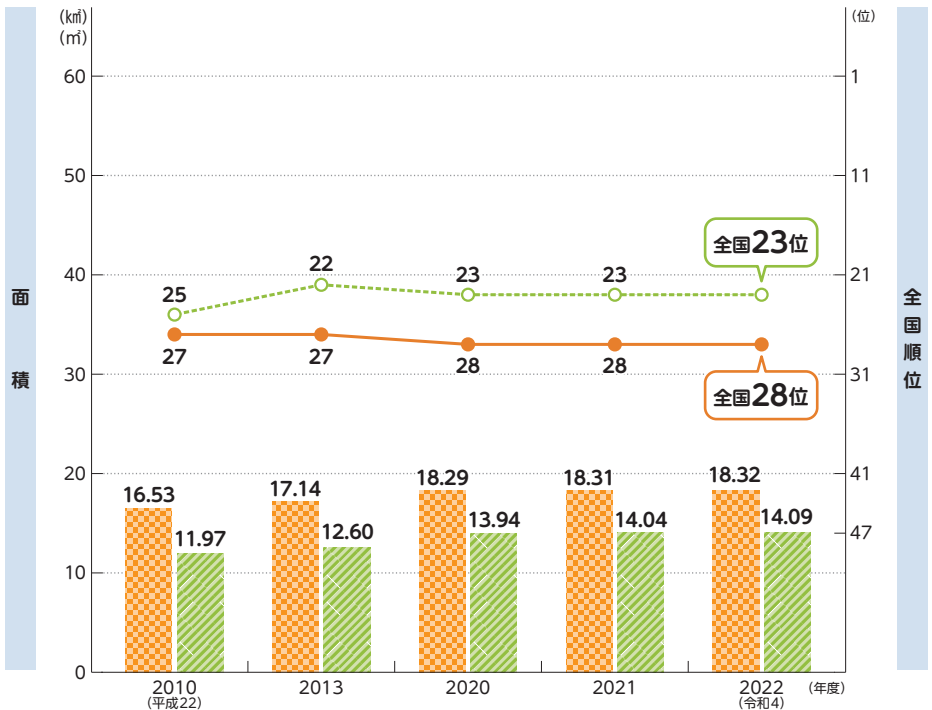
都市公園等整備現況調査結果によると、都市公園面積は2010(H22)年度末で16.53km²(27位)から2013(H25)年度末で17.14km²(27位)、2020(R2)年度末で18.29km²(28位)、2021(R3)年度末で18.31km²(28位)、2022(R4)年度末で18.32km²(28位)と増加しています。

都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積は、2010(H22)年度末は11.97m²(25位)から2013(H25)年度末で12.60m²(22位)、2020(R2)年度末で13.94m²(23位)、2021(R3)年度末で14.04m²(23位)、2022(R4)年度末で14.09m²(23位)と増加しています。

都市公園面積の推移

資料：国土交通省「都市公園等整備現況調査」

- 都市公園面積(km²)
- 都市計画区域内人口1人当たり面積(m²)
- 都市公園面積順位(右目盛)
- 都市計画区域内人口1人当たり面積順位(右目盛)





自然公園利用者数

1ha当たりの利用者数は、全国平均を上回る



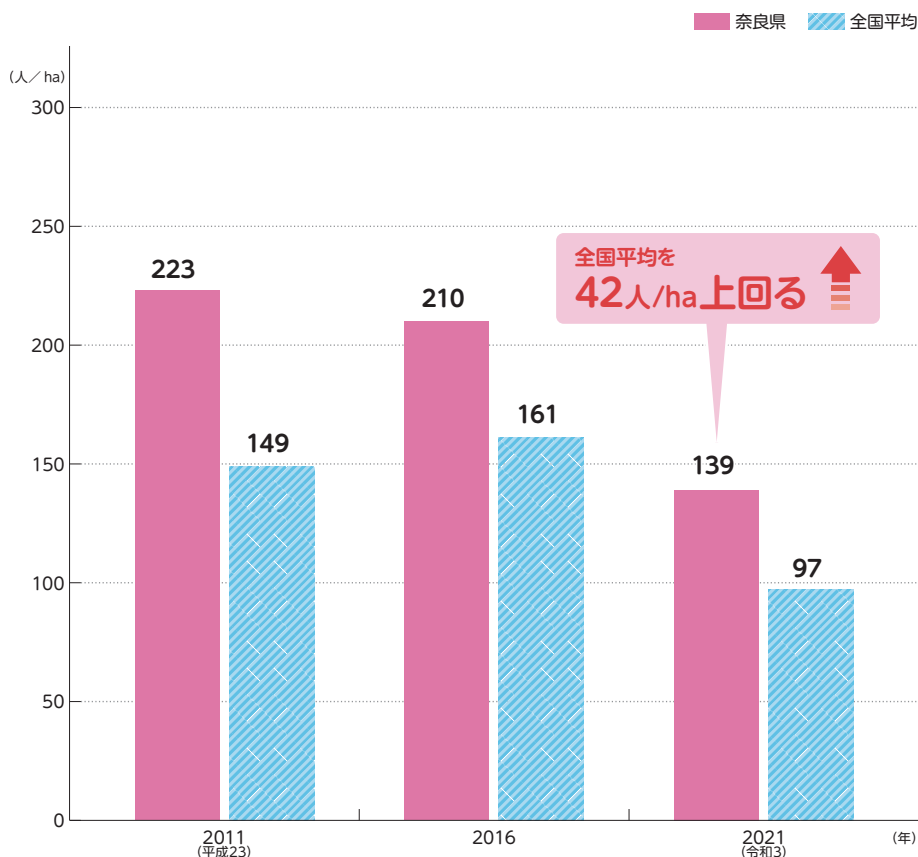
1ha当たりの利用者数は、2011(H23)年が223人、2016(H28)年が210人、2021(R3)年が139人で、いずれも全国平均を上回っています。

2021(R3)年の自然公園1ha当たりの利用者数は、139人と全国平均の97人を42人上回っています。2016(H28)年210人と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少しています。

- 自然公園…優れた自然の風景地の保護及び利用の増進を図るために指定された公園。奈良県内には8つの自然公園(国立公園【吉野熊野】、国定公園【金剛生駒紀泉・高野龍神・大和青垣・室生赤目青山】、県立自然公園【矢田・吉野川津風呂・月ヶ瀬神野山】)がある。

自然公園1ha当たりの利用者数の推移

資料：環境省「自然公園等利用者数調」





景観計画策定市町村率

県内7市町村が景観計画策定(県内策定率17.9%)



2012(H24)年が15.4%、2021(R3)年が17.9%と景観計画策定市町村率は向上しています。

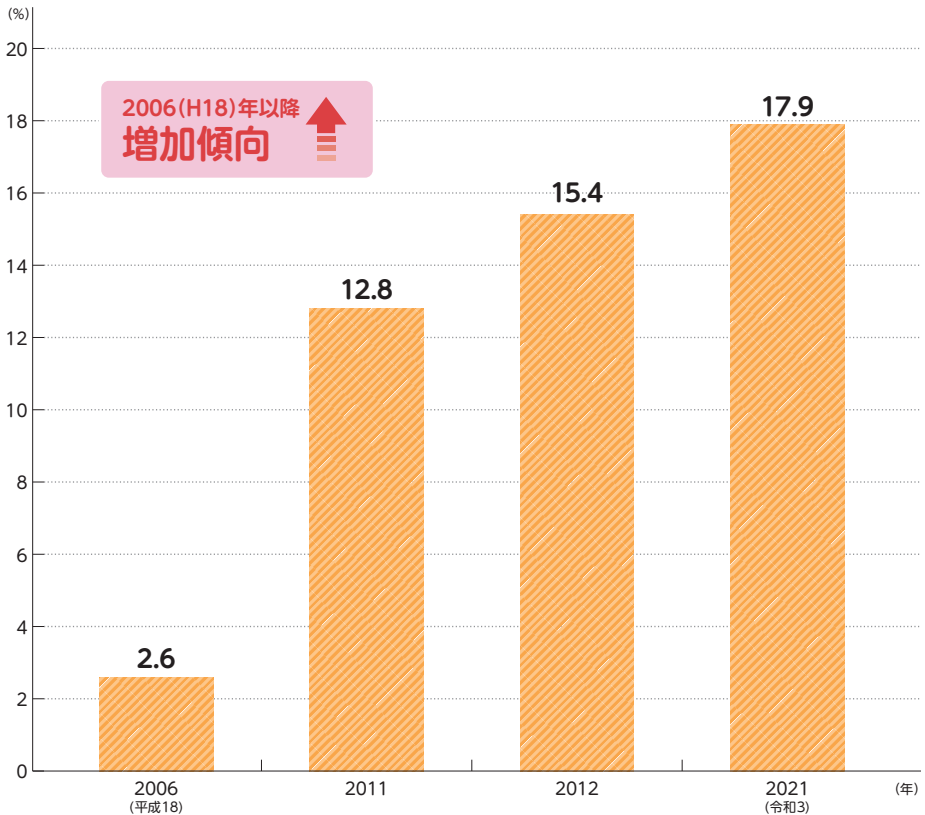
2021(R3)年時点で橿原市、奈良市、明日香村、斑鳩町、生駒市、桜井市、葛城市(策定順)の7市町村が景観計画を策定しています。

県では地域の特性に見合ったきめ細やかな景観行政の推進に向けて、今後も景観計画未策定市町村への景観計画策定に向けた支援、働きかけを行っていきます。

- 景観計画…景観計画に定められた景観計画区域内では建物の新築や改築などの際に都道府県や市町村に届け出が必要となり、色彩や緑化についての基準を守らなければならない。

景観計画策定市町村率の推移

資料：国土交通省「景観法の施行状況」





公共下水道の普及率

下水道普及率は83.4%



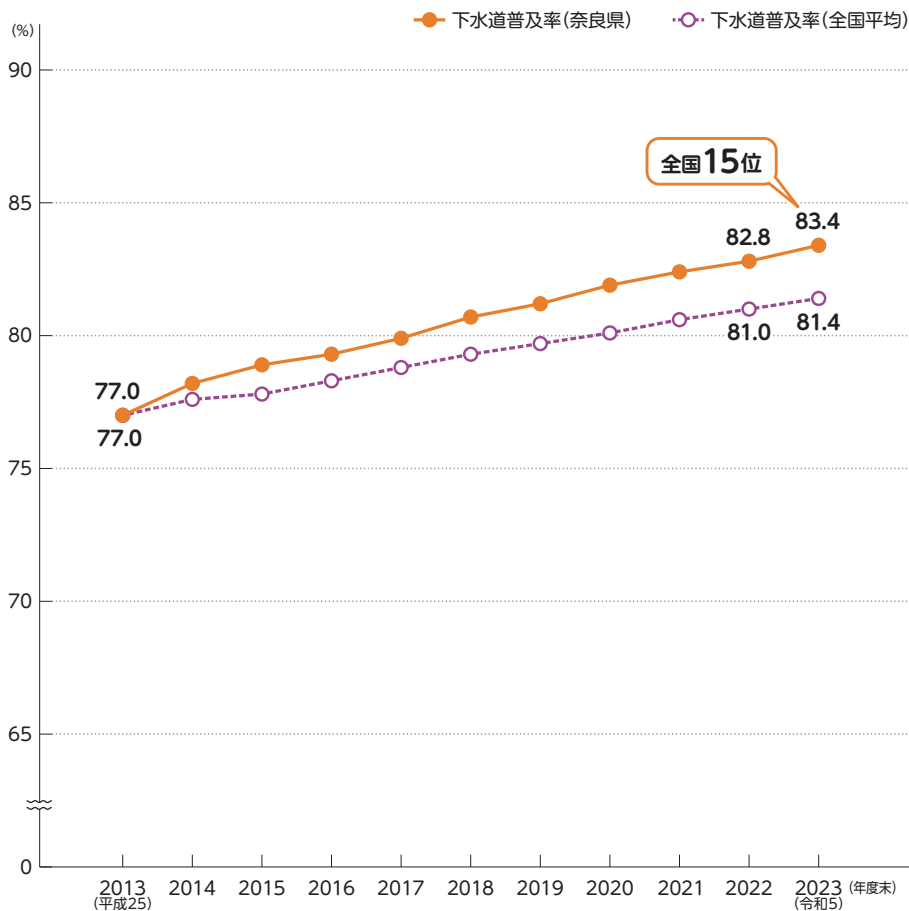
2023(R5)年度末の下水道普及率は83.4%で前年度の82.8%より0.6ポイント上昇し、全国15位となっています。

2013(H25)年度末と比べると、普及率は77.0%より6.4ポイント増加し、全国平均の81.4%より高い水準となっています。

- 下水道普及率…どのくらいの割合の人が下水道を利用できるかを表す値で、下水道の供用開始区域内人口を住民基本台帳人口で割って求める。下水道を実際に利用している人の割合ではない。

下水道普及率の推移

資料：国土交通省「下水道処理人口普及率」、県下水道マネジメント課「下水道普及率」





ごみ排出量

長期的なごみ排出量は減少傾向



2022 (R4) 年度のごみ排出量は41万6,988tで、前年度と比較して13,705t減少し、1人1日当たりごみ排出量は861gで、前年度から22g減少しました。

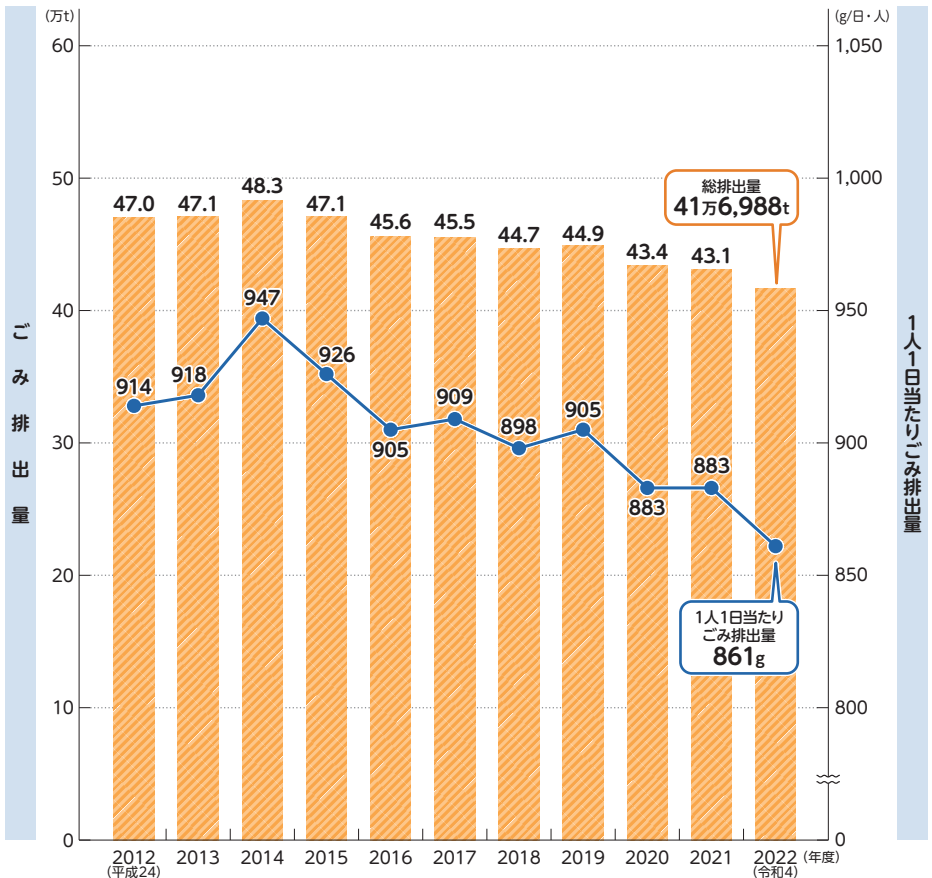
長期的にみると、ごみ排出量は減少傾向にあり、2012 (H24) 年度の47万54tから5万3,066t(11.3%)減少しました。

1人1日当たりごみ排出量も2012 (H24) 年度の914gから53g(5.8%)減少しました。

ごみ排出量の推移

資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査」

■ ごみ総排出量 ● 1人1日当たりごみ排出量 (g/日・人) (右目盛)





ごみのリサイクル率

ごみのリサイクル率 15.7%



2022(R4)年度のごみのリサイクル率は15.7%で比較して0.1ポイント減少し、資源化量は6万6,151tで、前年度と比較して2,486t減少しました。

ごみのリサイクル率は、2013(H25)年度の13.3%から、2017(H29)年度の16.3%まで増加しましたが、2022(R4)年度は15.7%となり、前年度と比較して0.1ポイント減少しました。

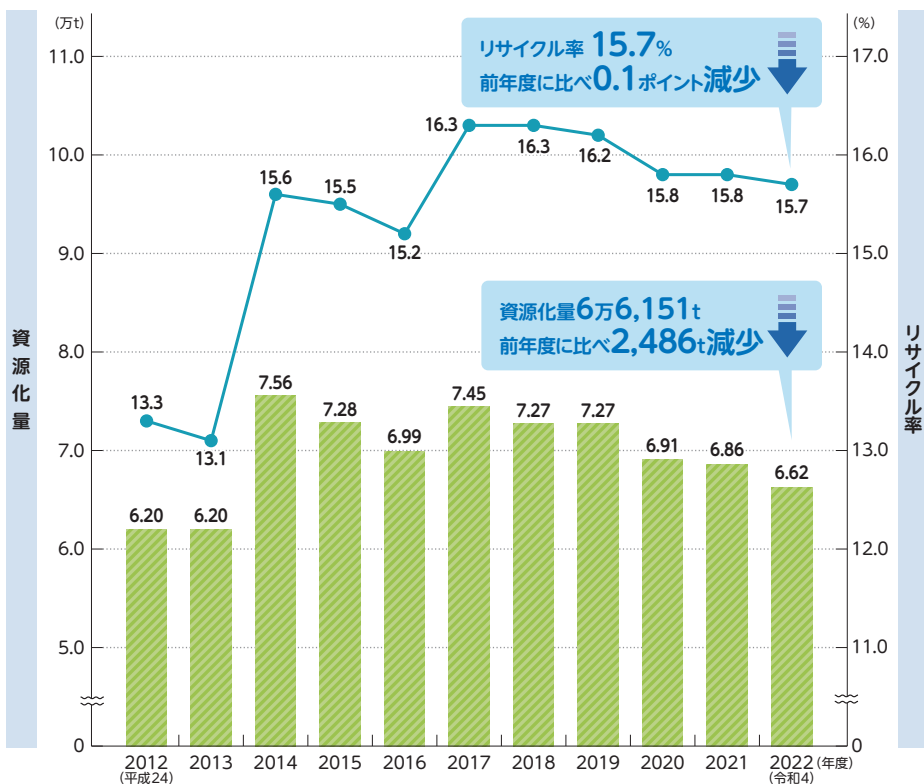
資源化量は、2013(H25)年度の6万1,963tから、2014(H26)年度の7万5,634tまで増加しましたが、2022(R4)年度は6万6,151tとなり、前年度と比較して2,486t減少しました。

$$\text{●ごみのリサイクル率} \dots \frac{(\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量})}{(\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量})}$$

ごみのリサイクル率と資源化量の推移

資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査」

■ 資源化量 ● リサイクル率(右目盛)





最終エネルギー消費量

1人当たりの最終エネルギー消費量は全国で3番目に少ない

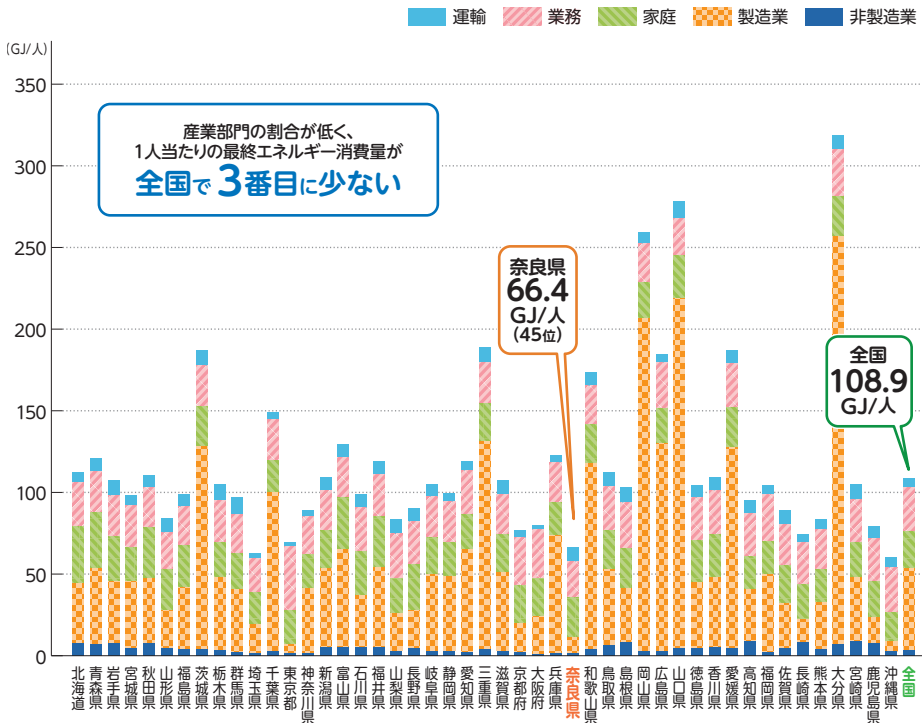


本県における最終エネルギー消費量は8万7,886TJで、全国で7番目に少ない都道府県となっています。1人当たりの最終エネルギー消費量は、66.4GJと全国で3番目に少ない都道府県となっています。大規模なコンビナートや工場が多く立地し、産業部門の割合が高い瀬戸内海沿岸の県の最終エネルギー消費量は高くなっています。

- 最終エネルギー消費量…工場やオフィス、運搬や家庭で実際に消費されたエネルギー量。
- GJ(ギガジュール)…仕事量、熱量及び電力量の単位、ジュールの10⁹倍。
- TJ(テラジュール)…仕事量、熱量及び電力量の単位、ジュールの10¹²倍。(1ジュール=約0.24カロリー)。

1人当たりの全国業種別最終エネルギー消費(2021(R3)年度)

資料：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」



再生可能エネルギーの導入実績

2023(R5)年度末の再生可能エネルギーの導入実績は
対2014(H26)年度比で2.9倍まで増加

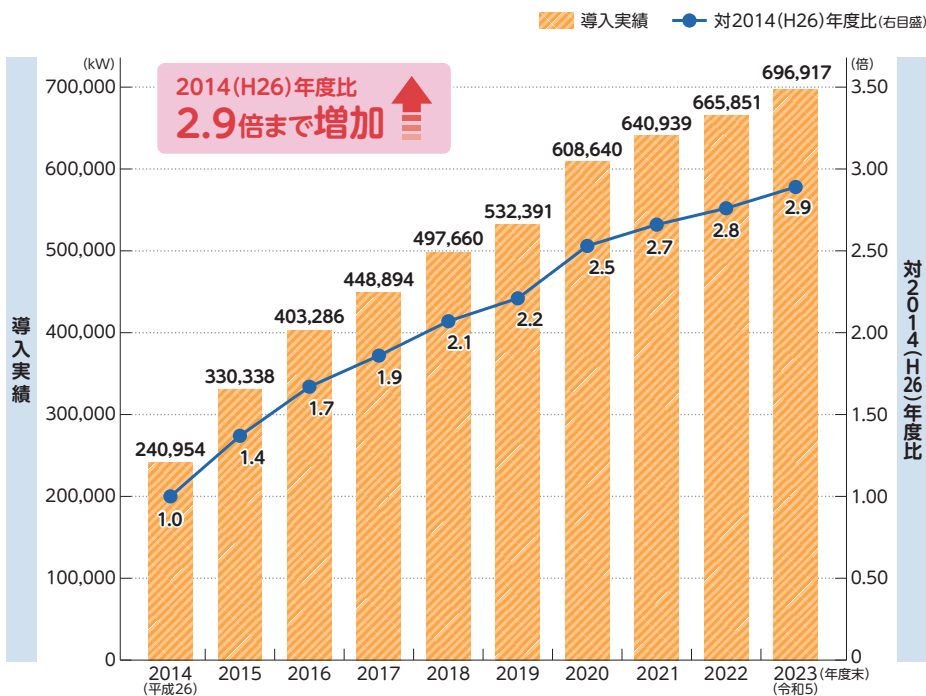
CHECK 本県の再生可能エネルギーの導入実績は、2023(R5)年度末で69万6,917kW
(対2014(H26)年度比2.9倍)で、増加傾向です。

2023(R5)年度末における再生可能エネルギーの導入実績の内訳は、太陽光発電が94.6%、バイオマス発電2.9%、水力発電2.5%の順になっており、本県では太陽光発電が大半を占めています。

- 再生可能エネルギー…[エネルギー源として永続的に利用することができるものと認められるもの]として、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスと規定。
- 水 力 発 電…今まで未利用であった河川や農業用水路、上下水道施設等での流水と落差を用いて、水車を回して発電するもの。
- バイオマス発電…間伐材、食品残さ、家畜糞尿などの生物体(バイオマス)を用いて発電するもの。

奈良県内の再生可能エネルギー導入実績の推移

資料：資源エネルギー庁「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト」



太陽光発電の市町村別導入実績は、奈良市が最大



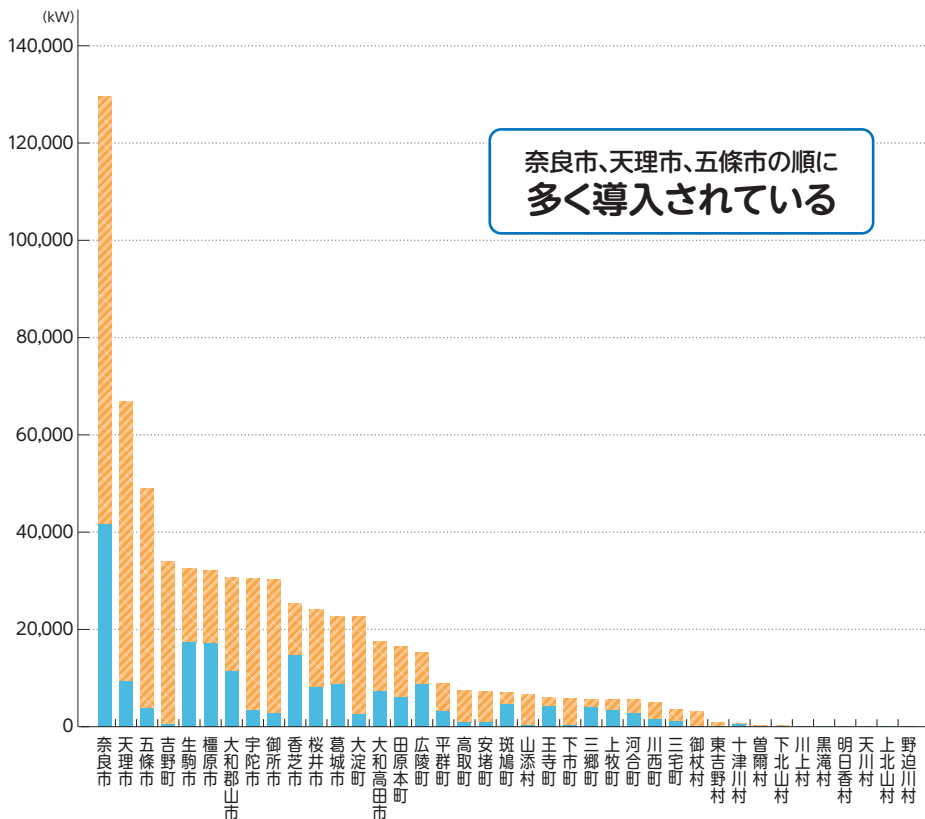
2024(R6)年3月末時点の太陽光発電の市町村別導入実績は、奈良市が最大で12万9,569kW、次いで天理市6万6,867kW、五條市4万8,931kWの順になっています。

- **固定価格買取(FIT)制度**…再生可能エネルギーで発電された電気を、地域の電力会社(関西電力送配電(株)等)が一定価格で買い取ることを国が保証する制度。太陽光発電の場合、10kW未満(家庭用)の場合は10年間余剰電力を買い取り、10kW以上の場合は20年間全量買取される。
- **太陽光発電**…太陽の光エネルギーを直接電気に変換。エネルギー源が太陽光であるため、設置する地域に制限がなく、導入しやすいシステム。送電設備のない場所の電源や災害時などの非常用電源としても活用できる。

固定価格買取制度による太陽光発電の市町村別導入実績(2024(R6)年3月末)

資料：資源エネルギー庁「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト」

■ 10kW未満 ■ 10kW以上



奈良市、天理市、五條市の順に多く導入されている



奈良県の気候の変化

激しい雨と猛暑日が増加傾向



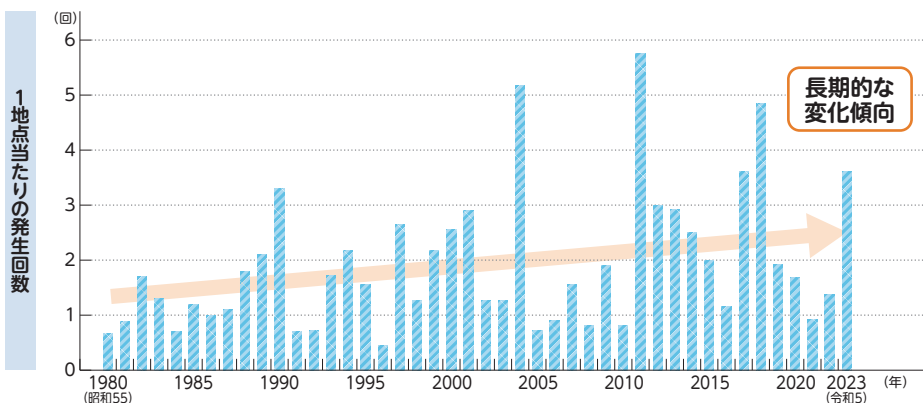
1時間に30mm以上の激しい雨を観測した年間回数が増加傾向です。

奈良県内のアメダスで1時間に30mm以上の激しい雨を観測した年間回数が増加傾向にあります。また、猛暑日の日数は、1990年代以降特に多くなっています。

- **アメダス**…局地的気象を観測し、集中豪雨・豪雪・突風などの発生を監視するシステム。
- **猛暑日**…最高気温が35℃以上の日。

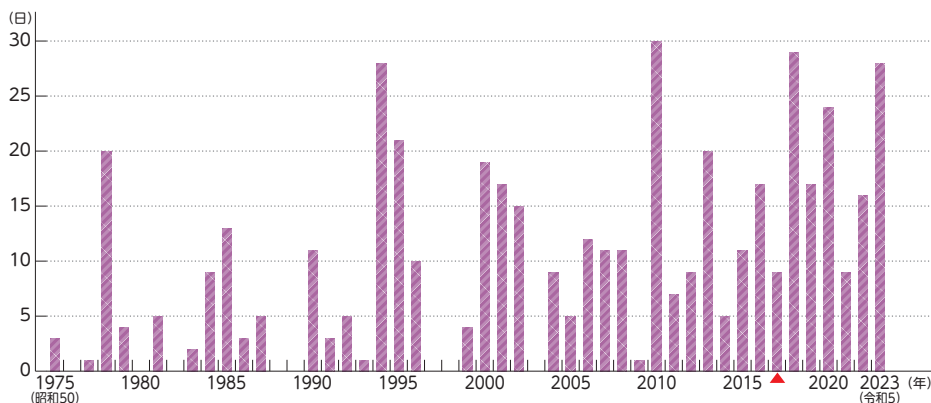
1時間に30mm以上の降水量を観測した年間回数(奈良県)

資料：奈良地方気象台



猛暑日の年間日数(奈良)

資料：奈良地方気象台



※▲は観測場所の移転を示す。